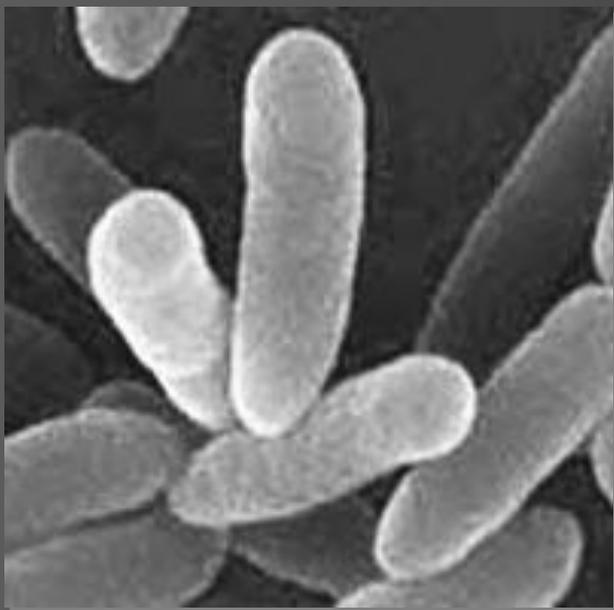


# エルシニア腸炎の1例

国保藤沢町民病院  
菊地鉄也 東山行雄 富澤正嗣

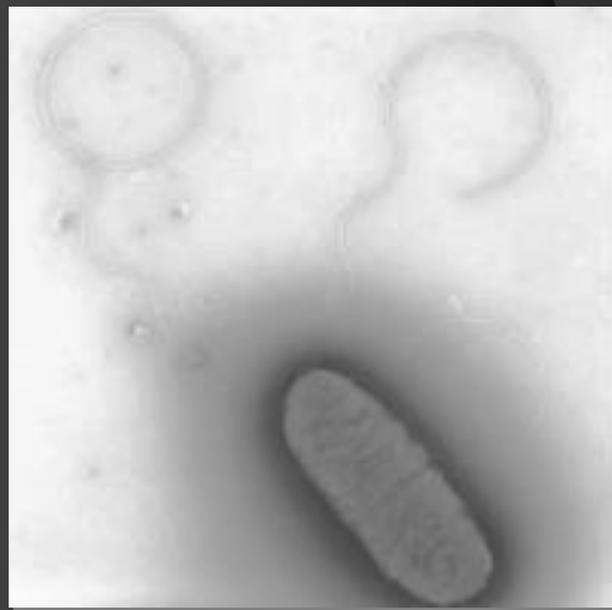
## エルシニア腸炎とは

腸内細菌科のエルシニア属菌による感染症の総称であり、一般的には食中毒菌として知られている *Yersinia enterocolitica* 及び仮性結核菌と知られる *Yersinia pseudotuberculosis* による感染症を指します。



*enterocolitica*

胃腸炎を引き起こすが一般的に軽症



*pseudotuberculosis*

腹部症状を伴う発熱発疹性疾患

### 主な症状

- 嘔吐、腹痛、下痢、発熱が一般的
- その他、頭痛、発疹、関節痛、滲出性咽頭炎、肺炎など

### 菌の特徴

- グラム陰性桿菌
- 1～45℃で生育可能
- 潜伏期間：1～11日（平均5日）

### 感染源・経路

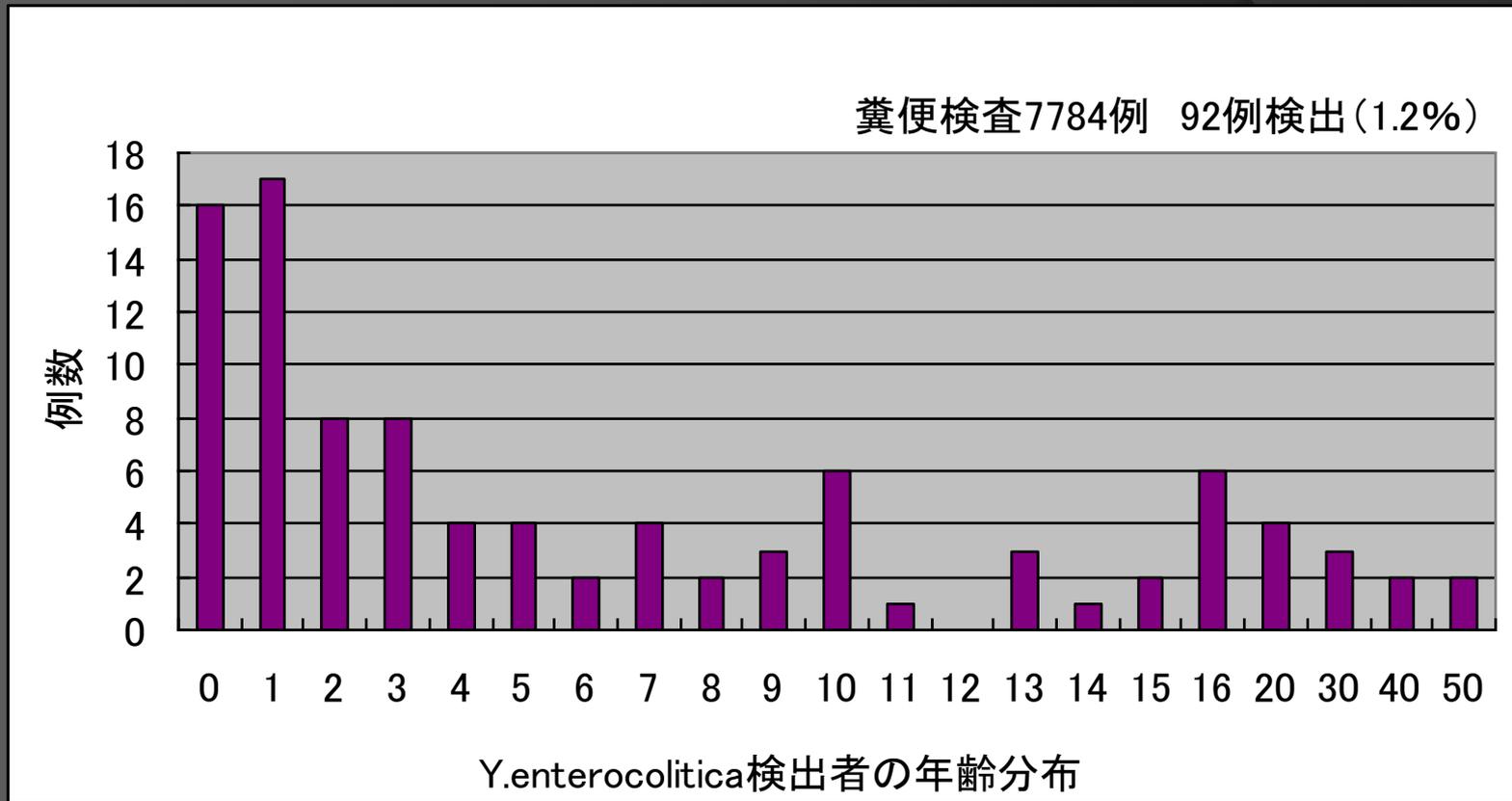
- 豚、犬、猫など保菌動物によって汚染された、食品、飲料水（沢水・井戸水）の経口感染と愛玩動物との接触による。
- 1990年代前半の調査では*Y.enterocolitica*は国内で生産された豚肉の8.1%から検出された。
- 症状消失後も糞便などからの菌検出は長期間続く

## エルシニア感染・疫学

### 喫食者の感染率

	喫食者	感染者	感染率	原因食品
昭和47年静岡県 小学校	441名	188名	42.6%	給食（不明）
昭和55年沖縄県 小学校	8835名	1051名	11.9%	給食・加工乳
平成9年徳島県 病院・学校寮	230名	66名	28.7%	仕出し弁当 （不明）

年間、食中毒患者総数の0.0%–0.2%



1984年～1990年 弘前市

## <罹患者>

- ・ 小児、とくに幼児に多く成人には稀な感染症と認識されている。

## Y.enterocolitica 陽性症例

性別	年齢	症状	WBC/CRP	体温
F	65	1週間前から臍周囲部痛	8100/2.0	36
F	84	4日前から腹痛	6700/1.9	
M	77	食欲不振 発熱	9200/7.0	37.6
M	53	5日前から臍下部に痛み	6900/2.3	36.8
F	74	発熱 食欲不振 全身倦怠感	10900/6.6	37.1
F	61	4.5日前より腹痛	8800/6.1	37.2
F	66	右下腹部痛 下痢	9200/20.3	37.4
F	71	1週間前から右下腹部痛 腰痛	16100/19.6	36.2

2007年7月～2011年7月 8症例

## 症例 65歳 女性

- 主訴

腹痛

- 現病歴

動悸を主訴に受診、ホルター心電図装着、翌日、外しにきたが1週間前から時々臍周囲部に痛みがある。腹痛が気になるため受診。嘔気はない。

- 身体所見

体温36.0℃

腹部 回盲部に圧痛がある。

同部にグル音亢進が目立つ、軽度ながら膨満がある。

## 症例 65歳 女性 血液検査

血算			
WBC	8100 $\mu$ l	CRP	2.0mg/dl
RBC	373 $\times$ 10 <sup>4</sup> $\mu$ l		
Hb	11.6g/dl		
Ht	35.2%		
MCV	94.4fl		
MCH	31.1pg		

## 症例 65歳 女性 腹部単純CT



### <CT所見>

- 回盲部に粘膜浮腫がある。
- 回盲部リンパ節が連続して腫脹している。
- 虫垂の腫大はない。

## 症例 65歳 女性 臨床経過

- CT所見より、起因菌をエルシニア腸炎と推定し便培養を施行しYersinia enterocoliticaを検出された。
- 抗菌薬、整腸剤の内服、内科治療により速やかに改善した。



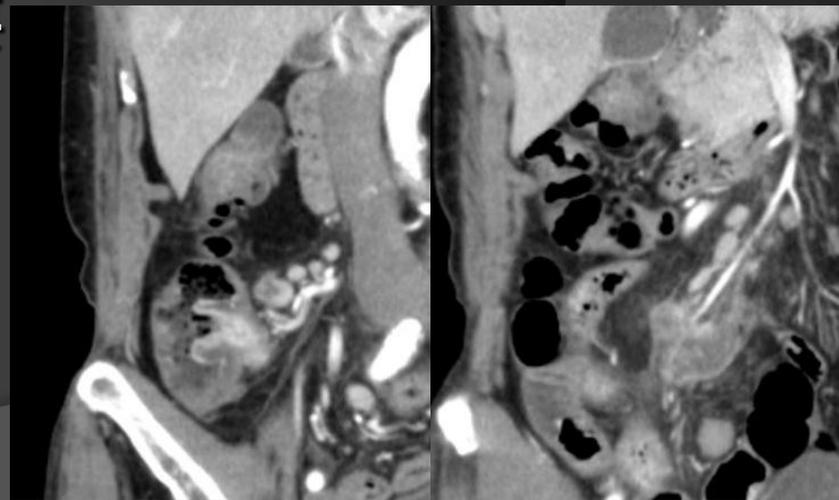
2ヶ月後 腹部単純CT

### 内科的治療

- 自然治癒傾向が強いため、他の細菌性胃腸炎同様に、発熱、腹痛、下痢などに対する対症療法、食事療法を行なう。
- 症状が改善しない時や重篤な症状や合併症がある場合は、抗菌薬を投与する。

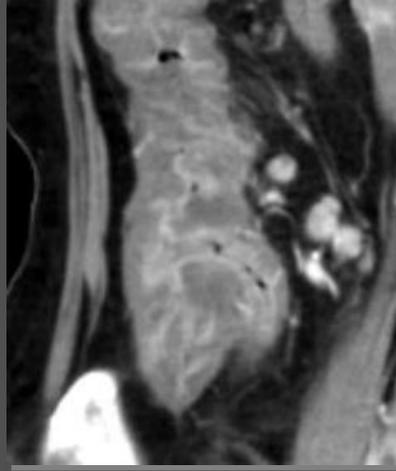
### 外科的治療

- 膿瘍を形成した場合、手術が必要

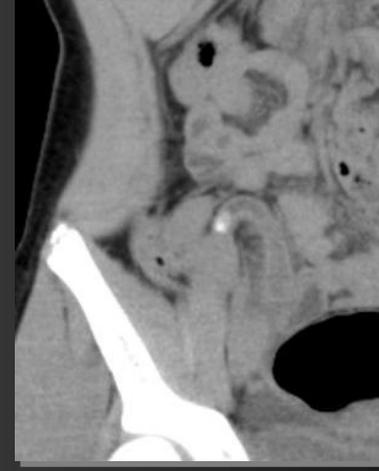


## 画像診断

US・CT: 虫垂炎との鑑別、腸管壁肥厚、リンパ節の有無



エルシニア



虫垂炎

内視鏡: 原因菌の鑑別



エルシニア

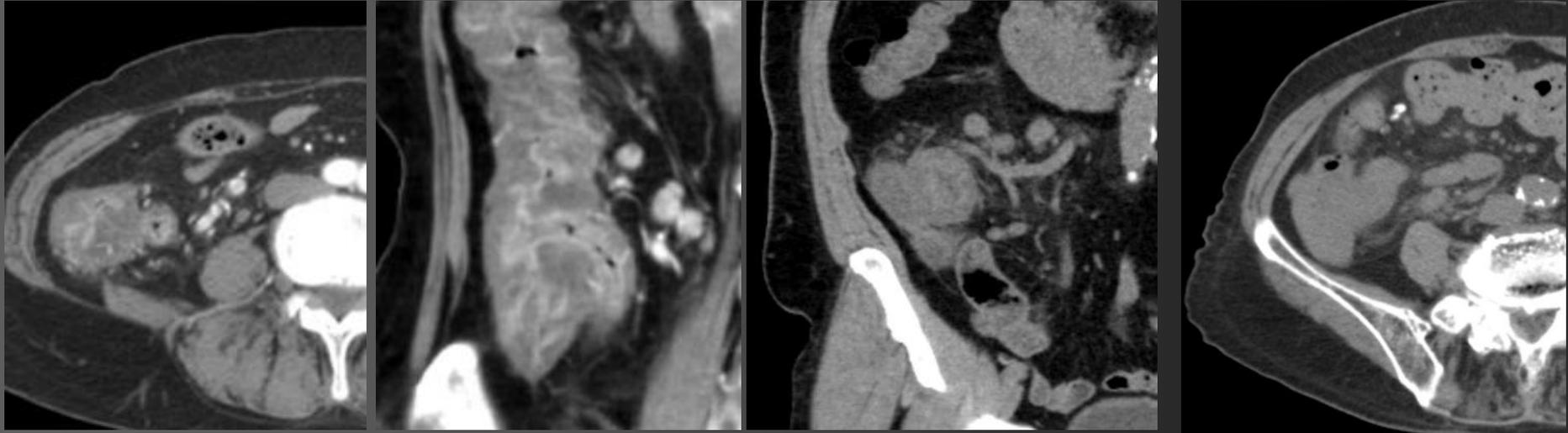


O-157



カンピロバクター

## エルシニア腸炎のCT所見



### <CT所見>

- 虫垂の腫大がないこと
- 回盲弁を中心とした終末回腸、上行結腸の浮腫性肥厚
- 回盲部周囲の腸管膜リンパ節腫大
- 腸管リンパ節周囲脂肪組織濃度上昇

## エルシニア腸炎・成人症例の画像所見

性別	年齢	虫垂腫大	回腸末端浮腫	LN腫大	最大LN
F	65	-	+	+	15mm
F	84	-	+	+	17mm
M	77	-	+	+	14mm
M	53	-	+	+	16mm
F	74	-	+	+	14mm
F	61	-	+	+	18mm
F	66	-	+	+	20mm
F	71	-	+	+	25mm

2007年7月～2011年7月 8症例

## 類似した症例



カンピロバクター



回腸末端炎

- サルモネラ カンピロバクター  
大腸菌